

自由研究の やり方

暑い日が続くとどうなるの？

地球温暖化により、日本の気温はどんどん高くなっています。
このまま温暖化が進むと、2100年の日本の気温は40℃をこえてしまう
かもしれません。過去・現在・未来のデータをみながら、暑い日が続くこと
によって、どのようなことがおきるか考えてみましょう。

調べ方

気温が30℃以上の日のことを「真夏日」といいます。
外に出てみたり、データをみたりしながら、真夏日について調べていきます。

1 気温30℃ほどのくらい暑い？
温度計を使って気温をはかり、気温が25℃のときと30℃のときの暑さの違いをくらべてみましょう。
気づいたことは、「みつけた！暑さの違い」のところにメモしておきましょう。

2 「昔」と「今」をくらべてみよう
環境年表16ページ「各都市の日最高気温30℃以上（真夏日）の年間日数（1931～2017年）」
のグラフより、自分が住んでいるところに近い場所のグラフを見ます。
一番新しいデータの2017年を「今」として、1990年、2000年、2010年の
真夏日の数とくらべてみましょう。

3 「今」と「未来」をくらべてみよう
2100年の真夏日の数の図をみながら、
未来の真夏日の数がどのように変わっているかくらべてみましょう。



大人の方へ

このワークシートは、グラフや図の読みときを必要とするテーマとなっており、学年や年れいによっては、一人で取り組むことが難しい場合がありますので、大人の方も一緒に取り組んでいただくことをおすすめします。

まとめ方

ワークシートを使って、調べたことや気づいたことを書いていきましょう。
調べたことを家族や友達に伝えるのもいいでしょう。

注意!!

- 暑い日に外に出るときは、帽子をかぶり、すずしい服で出かけるようにしましょう。
- 水やスポーツドリンクなどをのんで、こまめに水分をとりましょう。



ワークシート

暑い日が続くとどうなるの？

1 気温30℃はどのくらい暑い？

みつけた！暑さの違い

気温30℃以上ってどのくらい暑いのかな？ 外に出て暑さの感じ方をくらべてみよう！

気温が25℃の時

気温が30℃の時

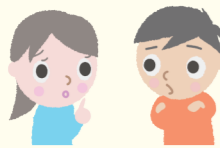
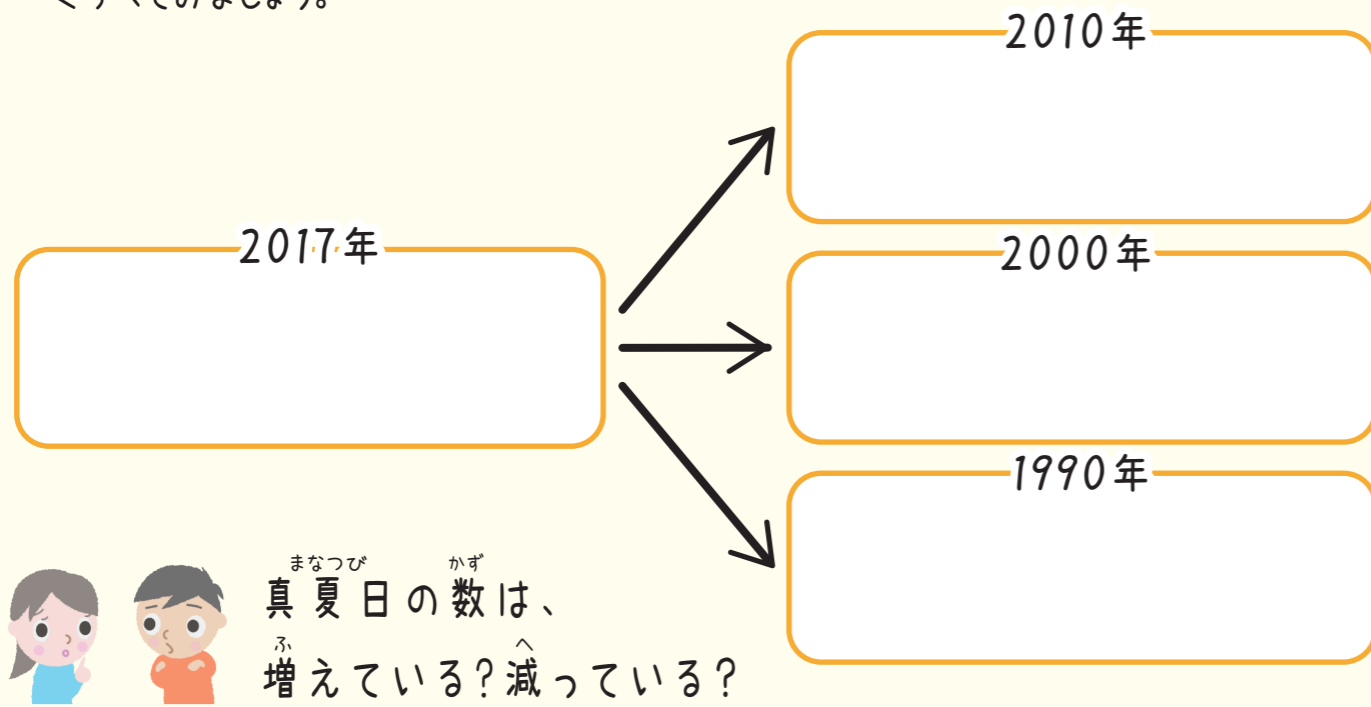


注意！！

- 暑い日に外に出るときは、帽子をかぶり、すずしい服で出かけるようにしましょう。
- 水やスポーツドリンクなどを飲んで、こまめに水分をとりましょう。

2 「昔」と「今」をくらべてみよう

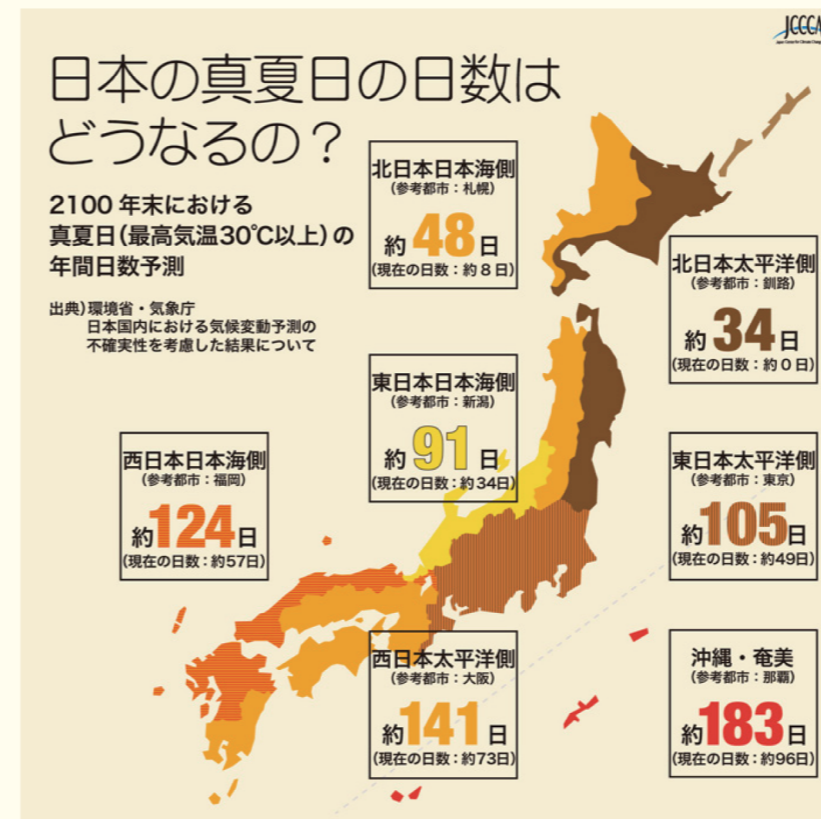
一番新しいデータの2017年を「今」として、1990年、2000年、2010年の真夏日の数をくらべてみましょう。



真夏日の数は、
増えている？減っている？

3 「今」と「未来」をくらべてみよう

下の図は、2100年の日本の真夏日の数をあらわしています。まずは、表の中から自分が住んでいるところに一番近い都市を探し、その都市がどの地域にあてはまるのかみてみましょう。



都市	地域
札幌	北日本日本海側
釧路	北日本太平洋側
東京	東日本太平洋側
新潟	東日本日本海側
大阪	西日本太平洋側
福岡	西日本日本海側
那覇	沖縄・奄美

出典：環境省・気象庁 日本国内における気候変動予測の不確実性を考慮した結果について <http://www.env.go.jp/press/19034.html>
 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト <https://www.jccca.org/>

図をみながら、自分の住んでいる地域の真夏日の数と「現在の日数」をくらべて、わかったことや気づいたことを書きましょう。

暑い日が増え続けると、私たちのくらしやまわりの生き物などに、どのようなことが起きるか考えてみましょう。

私たちのくらし

- 暑すぎて外で運動できなくなる
- 暑い地域での病気が日本にひろがる

まわりの生き物

- 寒い場所が好きな動物の住む場所がなくなってしまう